

「地域の人材を生かした作業学習」平取養護学校

経緯・概要

学校と町役場との関わりの中で、平取町の農業と養護学校を卒業する生徒の就労先として農福連携が検討された。その後、生徒が実際に農家での作業を体験すること、農家の方に養護学校の生徒の理解を深めてもらうことをねらいに、町役場の担当者が両者をつないで実現した。



工夫点・ポイント

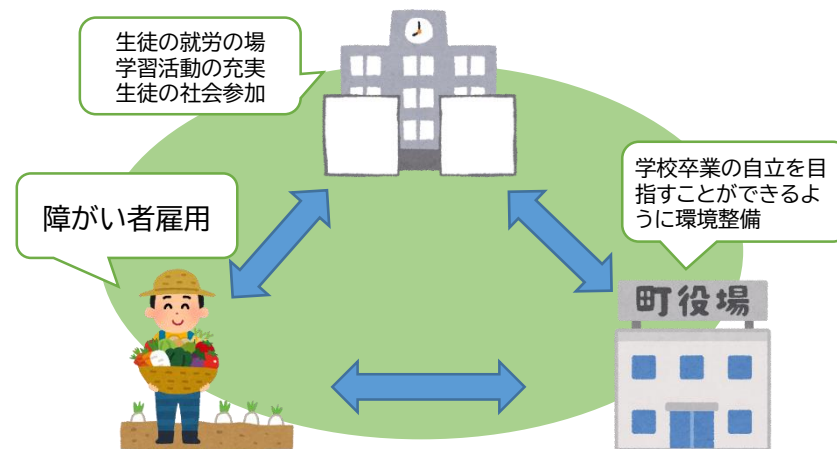
【関係機関・団体等との連携】

平取町社会福祉協議会が農家と学校間の移動を支援し、トマト農家の方が実際の作業の指導を生徒に直接行い、作業後には評価をもらっている。生徒は、根切り、芽かき、傷んだ葉の除去、除草、藁まき、寒締めほうれん草の土取などの作業を行っている。

【多様なニーズに対応した教育課程の編成】

令和2年度から導入しているコース制の「ワークコース」で実施。将来の職業生活を見据えての基盤となる力を伸長できるように実施している。

実施体制等



取組の成果

- ◎農家の方から直接、作業毎の目的を説明してもらうことで、学校内で行う作業学習より現実的な就労体験を行うことができた。
- ◎年間を通じて繰り返し作業を行うことで、生徒が自ら考え行動し主体的に取り組むことができた。

